

令和8年度 青少年異文化理解促進プログラム運営業務委託
公募型プロポーザルに関する質問書に対する回答

No.	表題	質問内容	回答
1	参加者募集・広報について	本事業の参加者募集にあたり、市内小・中学校への広域な周知を想定しております。周知にあたり、貴市から庁内関係部署並びに関係機関・団体等への取り次ぎや周知協力の可否と周知方法(データ配信、チラシ配布、郵送等)についてご教示ください。 また、その他に活用可能な貴市の広報媒体(周知方法含む)についてもご教示ください。	できるだけ多くの小中学生及び保護者にプログラムの情報が行き渡るように周知していただきたいと思います。「広報・宣伝業務」は企画提案書の記載項目ですので、周知方法は自由に提案してください。周知に当たっては、国際課が市教育委員会をはじめ適当な関係部署や関係機関への取次ぎ及び周知協力を実施します。なお、小中学校への周知協力については、受託者において作成、印刷、仕分けしたチラシを各校へ配付することは可能です(データ配信は不可)。 また、本市の市報(12月号)への掲載の他、HPや公式SNS等の市が保有する媒体で広報を実施する予定です。
2	参加人数について	仕様書の「延べ300名以上」は目標値との認識でよろしいでしょうか。また、同一参加者の複数回参加は可能でしょうか。	ご認識のとおりです。延べ300名以上が参加できる定員を設定したプログラムとしてご提案ください。 また、同一参加者が複数回参加することは可能です。参加者数については、各回の参加人数を合計した延べ人数として取り扱います。

3	会場利用について	貴市にて仮押え済みの会場・日程の活用を前提に企画提案することが望ましいでしょうか。また荷揚BASEを利用する場合に、例えば1月23、24日を本番とする場合、1月9日、10日、17日をリハーサルとして利用させて頂くことは可能でしょうか。加えて、荷揚BASEの施設利用料および、有料付属設備を利用する場合の費用負担の考え方についてご教示ください。	仕様書「5. 業務概要」-「(4)会場」に記載のとおり、会場の指定はありませんが、仮押さえしている日程で、大分市荷揚複合公共施設(荷揚BASE)6階多目的大会議室を利用する場合は、会議室の使用並びに仕様書に記載の設備の利用にかかる受託者の負担はありません。なお、記載がない設備を使用する場合、受託者が費用を負担のうえ準備してください。 また、同会議室を会場とする場合、1月9日、10日、17日にリハーサルを目的に同会議室を利用することは可能です。
4	保護者対応・安全管理について	小学校低学年の参加を想定し、保護者の同伴要否、待機スペースの利用可否、安全管理体制に関して求める基準等がございましたらご教示ください。	保護者の同伴や待機スペースの確保は必須ではありませんが、荷揚BASE 6階多目的大会議室を利用する場合に、会議室前の空きスペース(以下写真)を待機スペースとして利用することは可能です。社会通念上相応の安全管理体制を構築してください。 

5	保険加入について	仕様書では「必要に応じて傷害・損害賠償保険に加入すること」とありますが、受託者として死亡・後遺障害、入院、通院を補償対象とするレクリエーション保険への加入を想定しております。当該保険により受託者に求められる保険加入要件を満たすものと考えてよろしいでしょうか。また、委託者においてこれまでに類似事業で実績に加入している(加入していた)必須保険があれば保険種類並びに補償内容及び加入対象範囲をご教示ください。	仕様書の「傷害・損害賠償保険」は、参加児童が活動中に被った怪我を補償する「傷害保険」及び他者を負傷させた又は他者の物を破壊した場合の「損害賠償保険」を指します。 類似保険の補償内容については、大分市市民活動等保険(以下 HP リンク)を参照してください。 https://www.city.oita.oita.jp/o040/kurashi/volunteer/2022siminkatudoohoken.html
6	参加者・交流スタッフについて	特別な支援を要する児童の参加想定があればご教示ください。	現時点で、特別な支援を要する児童の参加想定はありません。ただし、実際の参加申し込みや実施段階において、個別の配慮が必要な児童がいらっしゃる場合には、保護者や市と密な連携を図り、安全面に配慮しながら柔軟に対応してください。
7	アンケートについて	参加者アンケートについて、学年に応じて設問内容を調整する想定でよろしいでしょうか。また、必須項目等があればご教示ください。	ご認識のとおりです。質問項目については、プログラム内容が決定の後、受託者と市の協議の上、決定することとします。
8	成果物について	成果物について、予算の関係上、専用機材の用意が難しいため、写真・動画データについて、受託者がスマートフォン等で撮影した記録データを提出する想定でよろしいでしょうか。加えて動画データの提出は必須でしょうか。	スマートフォンで撮影した写真等を成果物とすることは差し支えありません。動画の提出は必須ではありません。

9	再委託・プレゼンテーションについて	提案書に記載する再委託先の担当者が、プレゼンテーション参加者(3名以内)として同席することは可能でしょうか。参加が可能な場合、参加表明書類への再委託先の記載要否と記載形式についてご教示ください。	再委託先の担当者が、プレゼンテーション・ヒアリング審査に参加することは差し支えありません。再委託先の担当者は、参加表明書(様式第2号)に記載不要です。企画提案書の記載項目「業務全体の組織体制」に記載してください。
10	企画提案書及び評価について	副本作成時は、社名や社名を特定できるような内容については匿名化いたしますが、その他に留意すべき事項があればご教示ください。	実施要領「第3」-「4.企画提案書等の提出」-「(5)留意事項」に記載の事項をご確認ください。
11	レベル分けの階層(段階)について	レベル(コース)の設定数について、募集のしやすさや運営の観点から「2段階程度(例:初級・中級)」の設定を想定されていますでしょうか。あるいは、より対象に寄り添った「3段階以上(例:低学年向け・高学年向け・中学生向けなど)」の細かなコース設定を提案しても問題ございませんでしょうか。	小学1年生から中学3年生までの対象者に幅広く参加いただきたいと思いますので、参加者の年齢や英語の習熟度に応じて、3段階以上のコースを設定することは差し支えありません。
12	対象年齢ごとの参加人数のバランスについて	本事業では延べ300名以上の参加者を見込む計画とされていますが、小学1年生から中学3年生の各層において、市として希望されている参加人数の割合やバランスのイメージはございますでしょうか。 (例:「幅広く均等に定員を配分してほしい」「過去の需要を踏まえ、小学生の割合を多めに想定してほしい」などの市の方針や優先度合い)	小学1年生から中学3年生までの対象者に幅広く参加いただきたいと思います。なお、学年別、コース別の人数配分は、均等である必要はなく、申込状況に応じて適宜調整する形で問題ありません。

13	1 部(セッション)あたりの想定実施時間について	1 日で複数回開催する場合、市として想定されている 1 部あたりの実施時間の目安(例:おおよそ〇分程度、最低〇分以上など)はございますでしょうか。 また、対象者の年齢や集中力に応じて、例えば「低学年向けコースは短めに設定し、中学生向けコースは長めに設定する」といったように、コースごとに 1 部あたりの実施時間を変える提案を行っても差し支えないでしょうか。	1 部あたりの実施時間は、60 分間から 90 分間を想定していますが、この限りではありませんので、自由に提案してください。また、参加者の学年やコースのレベルに応じて、実施時間が異なることは差し支えありません。
14	広報活動における市との役割分担(学校への周知協力)について	仕様書に「(1) 参加者の募集 ① 事業の広報」とございますが、延べ 300 名以上の参加者を確保するためには、市内の小中学校を通じた児童生徒への直接的な周知が非常に有効であると考えておりますが、受託者が作成した募集チラシやポスターについて、大分市(あるいは教育委員会)を通じて市内の各小中学校へ配布(またはデータによる一斉配信)を行っていただくなどのご協力を仰ぐことは可能でしょうか。 また、市報、市公式ホームページ、公式 SNS など、大分市様が保有する広報媒体での周知協力についても可能かどうか、広報活動における市と受託者の役割分担の想定についてお聞かせください。	No.1 回答を参照してください。

15	参加者の募集について	参加者を募集するにあたって広報文やチラシを貴市のホームページ掲載いただくことや市立小中学校に案内いただくことは可能でしょうか。	No.1 回答を参照してください。
16	参加対象学年及び開催方法について	参加対象は小学1年生から中学3年生までとなっていますが、年齢や発達段階に応じて開催日を分ける提案(例:小学1～3年、小学4～6年、中学生)は可能でしょうか。	参加者の学年やコースのレベルに応じて、開催日を分けることは差し支えありません。
		また、各開催日における参加者の学年構成について、市として想定されている割合や募集方法がございましたら、ご教示ください。	No.12 回答を参照してください。
17	会場使用料について	荷揚 BASE 多目的大会議室を使用する場合、施設使用料は受託者負担となりますでしょうか。それとも大分市負担となりますでしょうか。	No.3 回答を参照してください。
18	参加人数の考え方について	仕様書に記載されている「延べ300名以上」とは、同一参加者が複数回参加した場合も延べ人数として計上可能でしょうか。 それとも、実人数300名以上を想定されていますでしょうか。	No.2 回答を参照してください。